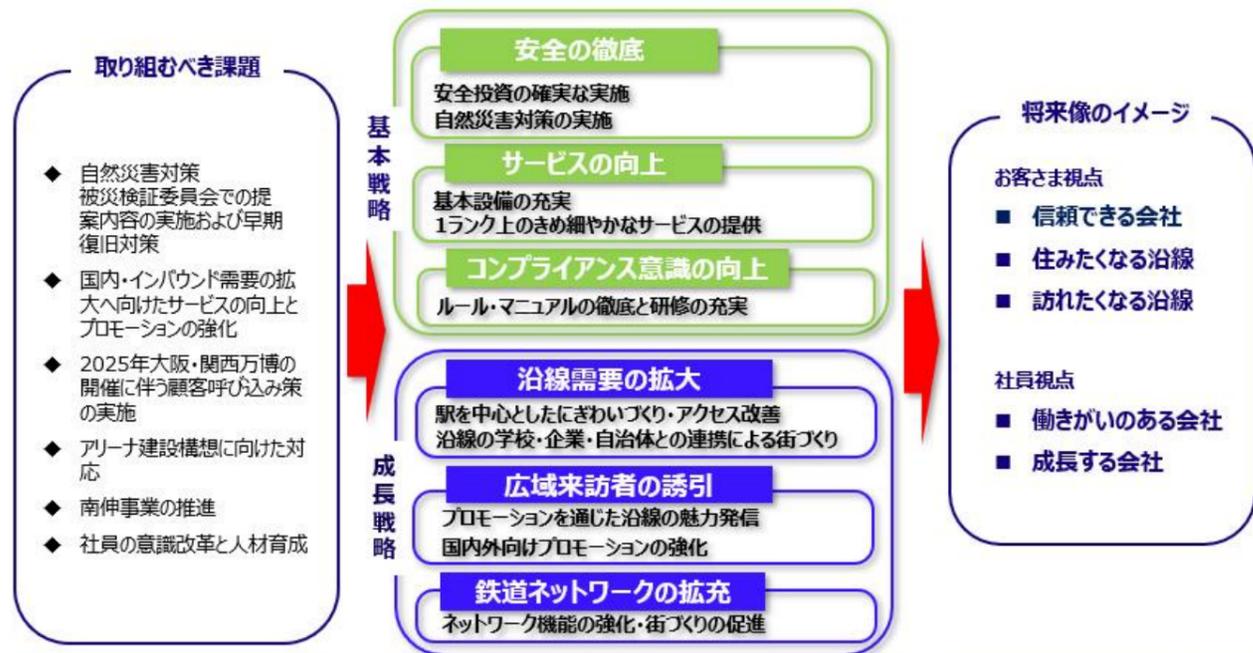


1. 新「中期経営計画2020-2024」の全体像

2029年の南伸開業など、長期的な視点も見据えながら、2025大阪・関西万博開催（2025年4月）に向けて、取り組むべき課題を確実に実行するため、2020年4月～2025年3月を期間とした新中期経営計画を策定することとしました。



2. 数値目標

**財務目標** 設備投資計画の実現と南伸に向けた投資への備えのために、営業活動で生み出されたキャッシュフローであるEBITDA（営業利益+減価償却費）を財務目標とします。

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
EBITDA	47億円	48億円	48億円	49億円	49億円
営業利益	27億円	25億円	20億円	17億円	16億円

**設備投資計画** 2022年度までは、更新投資により、投資額が大きくなってまいります。

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
車両	10億円	30億円	40億円	-----	-----
安全投資等	28億円	35億円	29億円	11億円	22億円
南伸事業	1億円	3億円	3億円	13億円	16億円
計	39億円	68億円	72億円	24億円	38億円

アリーナ建設構想の計画が決まり次第、必要な投資について検討し実施してまいります。

**長期財務目標** 南伸に伴う初期投資で減価償却費などが増大いたしますが、開業後も黒字経営を維持してまいります。

財務目標項目	2019年度(見込み)	2024年度	2029年度
営業収益	114億円	118億円	135億円以上
減価償却費	20億円	33億円	50億円以上
営業利益	27億円	16億円	10億円以上
EBITDA	47億円	49億円	60億円以上

(参考) 南伸開業

参考1. 現「中期経営計画」の3カ年（2017-2019）の振り返り【数値目標】

【評価】

- 売上高は、沿線人口の増加や大阪国際空港の利用者増などで、計画を上回る売上高を達成。  
⇒ 2017年度：112億円（実績） 2018年度：113億円（実績） 2019年度：114億円（見込み）
- 可動式ホーム柵などの安全投資は計画どおり実施しています。投資計画191億円に対して168億円達成見込み。車両の更新は、2020年度以降へ変更しました。  
⇒ 2017年度：23億円（実績） 2018年度：53億円（実績） 2019年度：92億円（見込み）
- 売上高人件費率は、概ね21%で推移しており、計画を達成。



（参考） 現「中期経営計画」の数値目標

売上高	設備投資額	売上高人件費率
毎年度110億円以上	2017年度～2021年度 290億円 安全投資：170億円 サービス投資：120億円	25%以下

参考2. 現「中期経営計画」の見直しの背景と新たな課題

